

KANAGAWA HOHYUH CLUB
神奈川県放友会



Newsletter

Vol.14.No4. Oct.2021
 第 56 号

神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川県放友会)

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地 8 号
 ストーク伊勢佐木 1 番館 501 号
 TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578
 発行人 長谷川 武
 発行日 2021 年(令和 3 年) 10 月 1 日

【無責任な「安全」・「安心」の言葉の乱用の怖さを考える】

顧問 野口 雄司

新型コロナウイルス感染症は、日本においても感染拡大し、緊急事態宣言を発出するに至り、医療提供体制に多大なる影響を及ぼしている。

業界では医療機器の設置や保守サービスを安全に、安定的に医療機関へ届けるため、今般、医療機関訪問時の感染防止策を纏めた「新型コロナウイルス感染予防ガイドラン JIRA 業界版 (第 1 版)」をワーキンググループにてまとめ、本年度 3 月公表するにいたった。

この一年半近く医療関連事業者の顧問として、また工業会活動での感染対策の委員として活動してきた中で特に気になる内容を整理してみることにする。

最近では様々な場面で「安全」「安心」という言葉が安易に乱用・使用されているが、全くその言葉の重みは無く、無責任な感覚を与えているのが現状であり、むしろ対極にある「危険」「不安」という状況を作り出しているのが現状である。

以前にも記したが、「安全」「安心」は近年ペアにして用いられる機会が多いが、両者は深い関係にあるものの、本質的にはかなり異なった面を有している。

「安全」は、科学技術、社会技術の問題として論理的に、客観的に、数量的に評価される試みが行われている。リスクという概念が用いられ始めたのは、このためと考えられる。

「安全」は科学技術や社会技術として実現させることを通して、客観性を重んじる方向を目指して発展してきた。しかし、「安全」の定義にリスクの概念が用いられ、リスクには危害のひどさという主観的な面が含まれており、また、「安全」目標には価値観が含まれているので、「安全」をすべて客観的に、技術的に取り扱うことは困難である。

一方、「安心」は主観的に判断され、個人によって大きく異なる。人間の心理に深く根ざしている

「安心」は、「信頼する」という人間の心と強く関係している。「安全」の反対は『危険』であるが、「安心」の反対概念は、『心配』、ないしは『不安』であろう。「安全」であることは『安心』に大きく貢献するはずである

が、「安全」であっても「安心」できない例、逆に「安心」しているが実は「安全」でない例もあり、必ずしも一致しない。

「安全」に慣れて「安心」してしまうと、かえって『危険』になるという面があるので、常に「安心」してはいけないということを強調する人もいる。小さな『危険』の経験が大きな『危険』を避けることに繋がるという主張にも似ている。「安全」と「安心」は客観と主観の狭間にあるといえる。

昨年の新型コロナ感染症が発生時、当該事項に関する正しい知識・認識は平準化されているかは疑問であった。

なりよりも、組織を預かる者として、今我々一人一人がどのような状況にあるかを知ることが必要であった。

多くの人が現状を「危険」と感じ「不安」を感じている事だといえる。言い換えれば「安全」なのか「安心」なのか、判断がつかない状況にある事だった。

そこで「安全」・「安心」を実現するためには、どのような要素が存在し何が必要なのか?を整理した。

その上で個々の内容を整理することにより、組織内での対応の手順・意識づけの平準化を行った。そして市場状況の変化や市場動向の予測を加味することにより、企業という組織体の新たな体制作りを行うに至った。

もちろん前提としては以前図で紹介した、「安全」・「危険」と「安心」・「不安」の構成要素領域を記し今回の心理的要素がどのように構成されているかを説明した。

しかしながら現在に至るまで、中身の無い安易な言葉の羅列により各自の不安や、組織としての方向性に影響を及ぼすことになっており、むしろ当時懸念していた時間経過と共に、新たに「不信感」や「焦燥感」を増大させ、社会・経済的活動の萎縮を加速するという状態を作り出し、新たに生じた様々な格差は社会不安の助長が醸成され社会崩壊への危険性の危惧も指摘され始めている。

改めて指導者たる者は「言葉」の持つ意味と関係性を理解しその影響を的確に説明する義務と責任がある。根拠なき無責任な「言葉」の乱用は決して許されるものではない。

農産物を餌にウニを養殖

長谷川 武

「ウニの味」を端的に表現すると、独特の「臭いと苦味」が「大人の味」というイメージで、旨味が残る食感がある。「ウニ」は高級食材として重宝がられ、高級品の逸品として扱われている。

故郷の「ウニ」のほろ苦い味を懐かしむ 2~3 の想い出があるが、最近は養殖技術の開発で高級食材のウニの味に、今昔の感があるようだ。

久し振りのウニの味

ウニの味の思い出には 1962 年頃のことだが、横浜伊勢佐木町通りの寿司屋で、ウニのにぎり寿司を食べた久しぶりの味の思い出がある。

寿司屋で食事をしたのも初めてのことで、若造の自分には気軽に入れる寿司屋ではなかった。そんな店で久し振りのウニを口に入れると、濃厚な甘味で、柔らかなチーズのような旨味と磯の香りが残る、郷里の懐かしき味の再現でした。

次のウニの味に関する忘れられない思い出に、1974 年 6 月第 2 回世界核医学会でニューヨークに行った時でしたが、サンフランシスコでウニを食べた時の残念な思い出がある。

率直に言って「アメリカのウニは、何でこんなにまずいのか」と思った経験でした。三陸のウニの味で育った舌が、サンフランシスコでのウニの味には馴染めなかった。自分の知るウニの味ではなかった。

また、2012 年 8 月のハワイ家族旅行で寿司をオーダーしたときのウニの味も、身は大きかったが舌が知っているウニの味ではなかった。

ウニの味は産地の違いで味が変わる。「ウニは日本に限る。寿司は日本に限る。」と改めて思った。

知っているウニ料理には、「生ウニ、ウニ丼、汁物、塩ウニ、焼きウニ」の極上の味を覚えている。

「生ウニ」は「刺身」で美味しさを堪能できる。ウニを豪華に食べてみたい方に「ウニ丼」がある。海鮮丼にはムラサキウニの方が良いという。

築地場外市場の中通に「うに虎」と言うウニの専門店がある。ここの「食べ比べ丼」は有名で、北海道各地のエゾバフンウニとキタムラサキウニの 5 品を贅沢に盛り付けした「ウニ丼」は、産地によって味の違いがよく分かる贅沢な「ウニ丼」である。

「ウニ寿司」は、にぎりに生ウニを乗せてノリで巻いたもの。「塩ウニ」は、微妙な塩加減により水分が抜けて、味が濃縮されている。

「焼きウニ」には、殻焼き、貝焼きがある。①「殻焼き」は、殻を二つに割ってから、殻を直接焼く。②「貝焼き」は、アワビ貝を器にして、味噌で穴を塞ぎキタムラサキウニを盛り付けて、蒸し焼きしたもの。絶品の味だったことを記憶している。

味噌味・醤油味の「ウニの汁物」も妙味です。

「炊き込みご飯」は、生ウニを直接入れて炊く。また、塩ウニ水又は塩ウニを入れて、普通通り炊く。

ウニの漁獲・保護・養殖

岩手県では 7~9 月にかけて生殖巣が大きくなり、秋に産卵するので、生殖巣が熟し切る前の初夏からお盆後くらいが漁獲の盛期になる。100g ほどのウニ殻からは、20g 位の身が採集できる。

秋には海水中に放出された卵、精子は、受精して 1~2 日でふ化し、植物プランクトンを食べながら 1~2 ヶ月海水中をただよい成長する。その後、変態して親と同じ形の稚ウニとなり海底で生活する。

基本的には雑食で、小さいときは小型海藻、付着珪藻類、生物の破片等を主に食べ、大きくなると大型の海藻を食べる。2 年で産卵し始め、3~4 年で殻径 5cm を越えるので、漁獲され始める。

ウニ漁獲ランクは、チリが 1 位で圧倒的、2 位はロシア、3 位は日本、4 位は中国、5 位がアメリカ。このウニの消費量の 8 割は日本である。チリ産のウニの 8 割は、日本に輸出されている。日本以外の他の主な消費国には、フランス、チリ、ニュージーランド、フィリピン等が挙げられている。

国内のウニ生産量は平成 30 年 (2018) 7,629 ト、この内、北海道 : 57.5%、岩手 : 11.7%、青森 : 8.3% 生産されているが、年により生産量には大きな変動があるので、地元ではウニの安定生産に向けて、資源量の管理と安定供給などが図られている。

キタムラサキウニとエゾバフンウニは禁漁期間や漁獲する大きさの制限、やせウニの移殖、あるいはコンクリートブロックの投入などによる漁場づくりをして、ウニの保護や増殖を図っている。また、ウニの放流用種苗を生産するため、種市町(現 洋野町)に県営の北部栽培漁業センターを建設し、昭和 62 年度 (1987) から種苗生産が始められている。

近年は温暖化の影響により、海藻が消えてしまう異変現象が起きて「磯焼け」が見られている。

雑食性のウニや南海系魚のアイゴは海藻の芽を食べ尽くすので、磯焼けの犯人とされており、海を荒らす厄介者として扱われている。

1~2 年前より新聞や NHK 特番で取り上げられていたのですが、キャベツやクローバーを餌にする、「ウニの野菜養殖」が始まっていることを知った。

ウニの殻をじっくりと観察していた時代を思い出すが、背中側が肛門、腹側が口で、消化管と生殖巣が大部分を占めている。消化管は殻体の中央を通り、その周りに 5 枚の生殖巣があり、私たちが食べているのはこの生殖巣の部分である。

ウニは雑食性で、主に海藻を食べるが、食欲は特別な口の構造にあり、食事スピードがかなり速のだという。口はランタンと呼ぶ五枚歯で、強力な咀嚼器を有し、頑丈な口を持っているのが特徴です。

野菜を餌に「ウニの養殖」

高級食材の「ウニ」が今や養殖されているので、水産技術の進歩を大歓迎する。一般家庭の食卓に割安な食材として登場することを願いたい。

この情報は、世界で初めてムラサキウニで「キャベツウニ」の養殖を成功させたと 2017 年 4 月に、神奈川県水産技術センターの臼井一茂氏が記者発表しており、これを朝日新聞が取材されて、6 月に全国区版で記事が出ました。

高級食材「ウニの野菜養殖」に魅せられて、神奈川県水産技術センターへは国内外から多くの問い合わせが来ているという。その中には水産関係者だけでなく、異業種の空き地場所の有効活用や、副業的にキャベツウニの飼育が出来ないかなど、人気ある問い合わせが数多く寄せられているという。

ウニの雑食性に注目すると、「海藻と野菜」に成分としての違いがあまりないことから、産卵期である 7 月に向けて、4~6 月の 3 ヶ月間だけキャベツを餌とする養殖法が開発されました。

一般のウニの養殖現場では、昆布を与え続けると食べ飽きてしまうため、間に違う餌を挟みながら与えるのだというが、ところが、三浦半島に生息するムラサキウニはキャベツを食べ飽きることなく、ずっと食べ続けるという。

海藻よりもよく食べ続けるので、食いつりが良いのです。3 ヶ月経つと身入り率がよくなり、味も甘味成分が天然ウニよりも多く、甘くて苦味が無く、臭いが無い、まるでフルーツのようなウニの養殖に成功しています。

三浦キャベツの約一割が流通規定外として捨てられていましたが、ウニの餌に利用できるようになったので、神奈川県内では三浦市城ヶ島、横須賀市、小田原市、川崎市で、飼育が始められています。

川崎では市場内にある空き店舗で飼育されており、スーパーへの野菜を袋詰めして出荷する際、一日約 100 kg 近くの端材がでるため、その有効利用でウニの飼育が始められました。

すでに横須賀市内では 3 個で 1000 円、小田原のスーパーではひとつ 400 円で販売されている。

次は、宮城県でクローバーを餌とするウニ養殖が進んでいることを、2020 年 5 月 2 日の新聞報道で知りました。

ウニにクローバーを与える養殖方法の実用化は、宮城大と石巻市の水産物販売会社などで行われており、この事業が成功するとウニが海藻を食べ尽くして、岩礁がむき出しになる「磯焼け」の対策にもなると期待されるのです。

クローバーはマメ科の植物ですが、ウニの餌にする養殖技術は、宮城大と九州大の



むつ市の大畑漁協の養殖ウニ

研究グループが開発し、特許を出願しています。クローバーを食べたウニは、野生の餌であるコンブを食べた時と同程度に成長しており、身の色合いも鮮やかで、養殖技術の確立が期待されています。



クローバーを食べるムラサキウニ

クローバーの安定栽培方法や、ウニ生産にかかるコスト等を調査研究中であり、「クローバーウニ」の需要や価格を探るため、飲食店での市場調査や試験販売を行っており、クローバーによる高栄養・低コストなマメ科植物飼料で、高品質なウニを 1 年中生産可能になるとは、嬉しい情報です。

世界的な和食ブームでウニの味わいが好まれてきたことを受けて、北海道(エゾバフンウニ)や宮城県・青森県(キタムラサキウニ)、神奈川県(ムラサキウニ)、佐賀県(アカウニ)など、各地でウニの養殖がスタートしています。また、山口県ではミニトマトやアスパラガスが産品というので、その農作物を餌にしたウニを育て始めており、各地で農作物を餌にしたウニの養殖が、精力的に始められている。

ウニの養殖技術が進んでいるのは、キタムラサキウニ、エゾバフンウニ、アカウニです。

コンテナ式、カゴ方式、蓋付コンテナなどにウニの種苗を入れて、成長に合わせて農作物や海藻のカジメ、ワカメなどの餌を与えるという方法が取られています。

日本では、これからはキャベツウニ、クローバーウニ、トマトウニ、ブロッコリウニ、ミカンウニなど、地域別の農産品を用いた養殖ウニが食べられるようになるが、すでに試食会も始められています。

今後、ウニ養殖が盛んになって、割安な高級食材として提供されることが期待されるので、農作物で育てた養殖ものを味わうのを楽しみにしたい。

昨今は割安なチリ産、ロシア産等の輸入品が大幅に出回っており、子どもの頃の高価なウニのイメージとは違い、時代の大きな変化を感じている。

医療法の一部改正に伴う、診療放射線技師法の改正と診療放射線技師の業務拡大

中村 豊

医療法の一部改正

本年、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が5月22日に改正された。この改正の目的は医師の労働時間短縮・健康確保と必要な医療の確保の両立である。医師の時間外労働規制の具体的な在り方、労働時間の短縮等について検討が行われた。

医行為の実施

医行為を実施することができるのは医師に限定されている。しかし、医療専門職種もそれぞれの職域毎に医学的判断及び技術に関連する内容を含んだ専門教育を受け、一定の能力を有している。

これを前提に、実際に業務実施に当たる個人の能力の範囲内で実施できるか否かに関する医師の医学的判断をもって、医師の指示の下、職種毎に診療の補助として実施可能な業務を各資格法に定めることにより、定められた範囲内で医行為を実施することができることとされた。

従って、医行為にあたる業務の移管/分担（タスク・シフト/シェア）については、医師の指示の下で行われることを前提として、医療の質や安全性を担保しながら、推進していくことが重要である。

医師の指示について

- 医師の指示が成立する条件として、
- ・対応可能な患者の範囲が明確にされていること
 - ・対応可能な病態の変化が明確にされていること
 - ・指示を受ける者が理解し得る程度の指示内容（判断の基準、処置・検査・薬剤の使用の内容等）が示されていること
 - ・対応可能な範囲を逸脱した場合に、早急に医師に連絡を取り、その指示が受けられる体制が整えられていること、が必要となる。

医療業務の移管/分担（タスク・シフト/シェア）を進めるための課題

・意識

意識とは、医療従事者の意欲や危機感等のことを指す。例えば、医療従事者全体の制度面への理解不足や、社会への啓発が足りてないためにタスク・シフト/シェアが進まない等の指摘がある。まず、この意識改革から取り組む必要がある。

・技術

技術とは、知識や経験、業務の方法や手順のことを指す。タスク・シフト/シェアの指導方法や研修の在り方の統一やマニュアルの作成、成功事例の共有、研修システムの構築が必要で、医療従事者の技術を担保することが重要である。

・余力

余力とは、人員、労働時間、資金等の余力を指す。意識の改革、技術の担保を踏まえてなお、医療機関においてタスク・シフト/シェアされる側の人材、労働時間、賃金の確保に取り組まなければならない。

移管/分担する医療業務の検討

医師の業務負担軽減を第一義の目標として、他職種への医療業務の移管/分担を推進する項目として、「初療時の予診」、「検査手順の説明や入院の説明」、「薬の説明や服薬の指導」、「静脈採血」、「静脈注射」、「静脈ラインの確保」、「尿道カテーテルの留置(患者の性別を問わない)」、「診断書等の代行入力」、「患者の移動」の9項目について検討が行われた。

放射線技師が現行制度の下で、実施可能な業務

- ・患者への放射線診療検査等の説明と同意
- ・放射線管理区域内への患者誘導
- ・血管造影画像下治療(IVR)における医師の指示の下、画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の位置を医師と協働して調整する操作
- ・医師の事前指示に基づく、撮影部位の確認・追加撮影オーダー(検査で認められた所見について、客観的な結果を確認し、医師に報告)

以上については、通知により告知される。

診療放射線技師法が改正されて、実施可能な業務

この医療法の一部を改正に伴い、診療放射線技師法が改正され、10月1日から施行される。この改正による業務は資格付随業務、技術隣接業務であり、安全性を担保する質の高い医療を提供する。これにより、診療放射線技師のより専門性を活かせるよう下記の診療放射線業務が拡大される。

- ・静脈路に造影剤注入装置を接続する行為。造影剤注入装置を操作する行為
- ・下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む）の注入した造影剤および空気を吸引する行為
- ・上部消化管検査の挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為。鼻腔カテーテルを抜去する行為
- ・造影剤を使用した検査やR I 検査のために静脈路を確保する行為
- ・R I 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
- ・R I 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血する行為
- ・医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

これに伴い、診療放射線技師籍登録者全員への受講が義務付けられた基礎研修（e-ラーニング形式）と実技研修（会場型）から成る告示研修会の申し込みが始まっている。なお、この改正に伴い、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、言語聴覚士等の医療業務の移管/分担が改正されている。安心安全の最適な医療を提供するため、これら医療従事者の仕事を理解して、チーム医療を推進する必要がある。

詳細については改正医療法、改正診療放射線技師法、厚労省通知、検討会資料などを参照してください。

現在の心境・趣味・余暇の過ごし方等の報告

1. 氏家 盛通 6月21日着

新型コロナで従来通りに行えないことが沢山できております。年寄りには“キョウイク”が必要だと言われましたが、何をいまさら教育かと思ったものでした。しかし、これは“今日行くところが必要”ということでした。

最近、近隣の電気店か100円シブ（広さが神奈川で一番大きいというところがあります。）廻りをしています。ふるさと会や同窓会などが、次々に中止になり行くところが無くなりました。これが数字に出ていることがあります。市内の移動は、敬老パスを使いますが、市外に行くときはパスモを使います。2019年1年間でパスモの利用料金は18,676円でしたが、2020年12月より2021年5月までの6ヶ月で440円のみでした。

2. 星野 光雄 6月24日着

コロナ禍の発生初期、焼土と化した本土へ、多くの同胞が着のみ・着のまま、空腹抱え中には感染症者も含み、中国大陸や北方・南方から引き揚げた戦後間もない頃の光景が想い浮かび、同年代の昔仲間には「薬が無いあの頃と同じだから“決着まで年単位”」との予想を伝えた。

中農家生まれの自分には、田畑山林仕事も面白い。生活環境に恵まれ、50余年前から当地で始めた野菜作りは、第2の職場も定年退職後に公私で本格化し、例えば10年程前に横浜市からの委託で再開発した休耕地では、今20余名の会員らと野菜作りを楽しみ、この団体を“星野教室”と称する者も居る。

3. 橋爪 俊幸 6月25日着

平塚駅ビルの清掃パートを続けて13年程になり、今年4月より午前みのパートとしては勤続年数最長になりました。75歳まで（残り1年半）体調次第ですが、続けます。

（Newsletter 55号にお粗末な闘病記を掲載していただきありがとうございました。）

4. 長谷川 武 6月30日着

専ら、家庭菜園で余暇を過ごして居ます。

毎朝、5:30~7:10健康太極拳・ラジオ体操で近くの公園に出ています。公園までは20分の距離。朝食後はゆっくりと新聞を読み、居眠りがあるがその後は庭にて家庭菜園の野良仕事。花より団子で、実のなる果樹の世話を楽しむ。4月のサクランボから始まり、5~6月の梅、杏、6月にブラム・ブラックベリー、7月は桃・ブドウ、9月は百目柿・ミカン、12月レモン・ゆずがあるので、果樹の収穫後は木の枝の剪定（これが大仕事）、収穫果樹の処理などに時間を浪費しています。アルコール漬けやジャムづくりです。春から秋にかけては、狭い庭ながらもプランタンを利用した家庭菜園が多忙で、種や苗、肥料や土などの買い出し等があるので気晴らしをしています。

スーパーの八百屋でパブリカを買って、その種を利用してプランタンで育てて、結構の収穫を得ています。また、町内会の青葉会(老人会)で副会長の役に在るので、けっこう時間を取られています。地域のクラブ活動・老人会活動で、談話室の開催・横浜シェア大学受講など、今のところ元気でお付き合いしています。

(2021年6月28)

5. 櫻田 晃 7月1日着 「コロナ禍と2020オリパラ開催に思う」

明けても暮れても新型コロナの話題で持ちきりの今日この頃であるが、1年延期になっていた2020東京オリパラを強行するらしい。未だに感染拡大をコントロールできていないのにだ。

しかも、上限を設けるとはいうものの、観客を入れて行うという。専門家の多くが“やるなら無観客で”と進言しているのに、いったい何を考えているのか？、オリパラの商業化が問題だと言われて久しいが、所詮、国民の命など二の次なのだ。言うまでもなく、オリパラはそれぞれのスポーツ分野のトップアスリート達が競い合うスポーツの祭典だ。私もスポーツ大好き人間としてこの祭典を楽しみにしていた一人だが、この状況下で人流を増やし感染拡大を招きかねないやり方には反対だ。もし、感染拡大を招いたら、関係者にはきっちりと責任を取っていただかなければならないと思う。

6. 橋口 邦紘 7月2日着 「悶々の日々」

やっと第1回目のワクチン接種が終わり7月19日の2回目を待つのみとなり、超自粛を続けるつもりだが、何故かスッキリしない。果たしてワクチンの効果は何年持続するのか、変異を続けるウイルスに1回だけの接種で対抗できるとはとても思えないし、根絶は不可能に思える、1日も早く、予防、治療薬が開発されんことを願うばかりである。今こそ世界中の研究者が連携するべきである、そうしないと未来の子供たちに申し訳ない気持ちでいっぱいになるが、何の役立たずの自分に腹正しく、又、悶々の日々を送っている。

趣味(麻雀、競馬2年以上ご無沙汰です悔しい)、若い時は色々嗜みました、自家用車かオーディオかで悩み結局、後者を選び幾度となく秋葉原へ通いかなりの額つぎ込みましたが、あれから40年当時垂涎の的だったアンプは劣化のため音を出さず、38cmのウーハーにはいつの間にか穴が開き見るも無残なありさま、今となっては修理する元気も無く無用の長物となりました。「読書」と言いたいのですが「文藝春秋」読み切るのに若い時は1週間かからなかったのに今では1月かかります。これを趣味と言っていていいでしょうか。

7. 中島 義人 7月7日着

お世話になっています。南共済病院の中島です。

コロナによる自粛疲れが溜まってきている現在です。今後、業務拡大により静脈確保等、放射線技師にとって新たな領域へのスタートの年となりそうなので頑張っていきたいと思っています。

昨年より折り畳みのカヤックを購入して休みの日は早朝より平潟湾にて水上散歩を楽しんでおります。

8. 福井 達夫 7月10日着

現在私は72歳となり、人生総仕上げの最終章ドラマに近く、最後のクライマックスを迎えています。最高に盛り上げたいと思っています。

60歳で茅ヶ崎市立病院を退職し、野村消化器内科で10年働き、今自由の見です。妻からは、たまにはどこかへ行ってほしいと云われるしまつです。今コロナ禍で、あまり活動はしていませんが自治会の副会長をしています。趣味は囲碁です。12歳の仲邑二段のういういしさに、ほれほれしています。私はへボですが、囲碁の深さに全く魅了されています。放友会の皆様の健康とご活躍を心から祈っています。

9. 宮原 新吾 7月10日着

子供達も独立し、妻と二人でゆっくり時間が流れています。今現在の趣味と言えるものは、ございませんが、前から興味があったのは裁判の傍聴です。定年後は傍聴マニアになろうと思っています。

10. 小松崎 眞一 7月12日着 「新型コロナ禍の余暇」

通常はスナックで飲酒しながらカラオケを行っております。歌は詩吟・演歌・J-POP・洋楽等です。ですが現在休業や時短営業で歌えません。そこで、洋楽をCD使ってラジカセで聞きながら覚えています。来たるべくスナックの開始の為です。英語の歌詞は覚えないと歌えません。

ワクチンの接種は2回終わっていますので、その時を楽しみにしております。と言うことで、最近の趣味はカラオケです。「歌は3分間のドラマ」と言います。奥が深いと思います。

11. 村松 康久 7月13日着 「ご無沙汰しています」

私が法事で田舎に帰っている時、妻が自宅で目眩を起こして、階段から転落して、全身を打ち、救急車で病院に搬送されました。急ぎ田舎からもどって病院に向かい、様態を聞いたところ、医師から「頭部は大丈夫だが、第二頸椎骨折」だと告げられた。一瞬下半身マヒが頭をよこぎった。本人に痛みはどうか、手足は動くか聞いたが大丈夫の様だ。翌日医師から腹部CTで脾臓に腫瘍があると言われ、又々びっくり、しかし、ここの病院では脾臓腫瘍の手術は難しいので横浜市大かガンセンターかを紹介され、妻がガンセンターを希望し紹介状を持って行き受診した。手術から一か月後に退院となり外来は3ヶ月に一回毎のフォローアップで、3年半後には6ヶ月毎の受診となった。病気が病気だけに妻は非常に神経質になっていて神経系の医療機関を受診してきた。こちらは1ヶ月に1回の受診を続けている。

妻が手術して、今年の暮れで5年になる。今まで仕事にかまけて、自由にやってきた私は、当然として妻に尽くしたいと思って片時も離れずにいる。妻も30分以上私が離れていると不安を訴えた事もあって、ずっと

傍ら（当事者脇）にいて看護してきた。暮れの受診で、転移、再発がない事を祈っている。

そしてコロナが収束した後、二人で旅行に行きたいと思っている。

12. 西村 幸治 8月3日着

皆様 大変ご無沙汰しております。西村 幸治(現シーメンスヘルスケア(株))です。

昨年1月(2020年)から、本州最北の青森県に異動となり単身赴任生活を送っております。赴任時はホテル生活で、インバンドの方々(恐らく80%のホテル客の割合)で、スノーボードやスキーを楽しんでいたようです。そんな私も20数年ぶりにスキーを再開しました。何せ、アパートから20分~30分でスキー場です。あの有名な八甲田山も30分さらに酸ヶ湯は40分ですから、今年はほぼ毎週スキーをしてました。朝8時ごろにアパートを出発して、グレンデもしくはゴンドラに9時ごろからスタートして、昼食は手持ちのカップラーメンを、湯を沸かして食べ、午後に数本滑ってから酸ヶ湯でのんびり湯に浸かり、4時ごろには既に自宅と云った週末です。関東ではありえない生活です。また、青森市内には通常銭湯と云うところも、源泉かけ流し、だったり温泉三昧です。

こちらにお越しの際には、簡単な観光案内も出来る様になりましたので、ご一報ください。

では、もう少しでコロナも収束するかと思いますが、ご自愛ください。

13. 仙臺 真紀夫 8月10日着

新型コロナウイルス感染者増加がつづいていますが、5月下旬に2回のワクチン接種が終了しています。

海老名市のある施設では、ワクチン接種を2回しているにもかかわらずクラスターが発生したとの事でまだまだ安心することが出来ず、1日も早い終息をと連日思っています。

野球観戦(プロ野球・高校野球)や時間を見つけて感染対策徹底のスポーツクラブに通っています。

14. 早瀬 武雄 8月11日着

東京五輪が終了した。沢山の感動が生まれ、開催までにあった色々なことを忘れて(ボケて)しまった。

(私が感動したのは、女子バスケットの銀メダルである。特にベルギー戦の勝利につながる最終3ポイントシュート。興奮した。)だが、新型コロナウイルス感染は人流の増加に比例して感染者が増えた。高齢者にワクチン接種が行われているために死者が少なくなり一時の恐怖から解放されたと感じたのであろう。

私たち夫婦も2回のワクチン接種が終わり安堵しているが、外出するまでの勇気はなく買い物位である。時々湘南平まで早朝ドライブして富士山を眺め解放感を味わっている。「コロナ感染収束後に旅行に行こう」・・・の呪文を唱えている毎日です。この秋には皆さんと会えるのではないかと期待している。

15. 川嶋 正平 8月14日着

“光陰矢の如し”定年退職してから20数年、紆余曲折の人生でしたが、昨年末からの新型コロナの猛威には驚きです。老後は元気で、”生涯現役“を描いていたのが、この騒動で一瞬にして崩れ去ったのです。仕事はなくなり、ウォーキングは自宅の周りの散歩に変わり、英会話はオリンピックの縮小で挫折、全く残念なばかりです。

現在は”巣ごもりの”生活に変身したのです。この生活から早く脱却したいです。でも幸いに、この時期にオリンピック・高校野球が実施され、スポーツ好きな自分には選手の一生懸命さにはたくさんの勇気ももらいました。感染防止の3原則、3密の原則に振り回される生活から脱却し、早く元の日常生活に戻りたいと思っています。以上近況報告とします。

16. 坂野 建治 8月19日着

ご無沙汰しております。元来の出不精ですが涼しい時間帯に近所の遊歩道や近くの県立公園を散歩して体力維持に努めています。

ワクチン接種は終わりましたが、昨今の感染状況から感染しない事が細やかな社会貢献と思えばらくの間、買い物以外は人混みを避けて自粛生活を続けようと思っています。

17. 橘 亨 8月19日着

日々新型コロナウイルス感染者数、過去最多・・・、変異株が猛威を振るい、まったく収束の先が見えない。

日本は、世界は一体どうなってしまうのだろう。長引くコロナ禍、毎日毎日一年以上も自宅に引きこもって健康にいいはずがない。体力維持の為、週 3 日スイミング、毎週一日は持病の腰痛治療のため病院通い、また妻の通院の送迎をしたり、家庭菜園で野菜作り等をして過ごしている。

たまに気分転換に愛車ハーレーで海を見に行ったりしている。また放友会の皆さんと一日も早く再会出来る日が来る事を願っています。共に頑張りましょう！

18. 千田 久治 8月24日着

役員の皆様、会務大変お疲れ様です。全国的なコロナ感染拡大心配です、早期の収束を祈るばかりです。

東洋:公衆衛生学院で診療放射線技師養成教育を始めて 9 年目になります。今年 3 月をもって学科長の職を退きましたが、就職担当として在職しております。昨年のコロナ感染拡大からは、テレワークやオンライン授業など不慣れなことも多く苦勞しておりますが、学生はもっと大変なことと思います。

今回も突然、臨床実習の受け入れを断られる事例も発生し、急遽実習病院の変更を余儀なくされました。

コロナワクチン接種を 2 回終了して、少し安心していますが、感染拡大が終息するまでは、田舎に帰ることも、温泉に行くこともしばらく我慢したいと思います。

まだまだ暑い日が続きます。役員の皆様の健勝をお祈り申し上げます。

19. 小嶋 昌光 8月28日着

ワクチン接種は 5 月頭、連休明けに 2 回目と早々に。これでまあ一安心。病院はテレワークなどできないわけで、通常は始業時間の 1 時間前には到着するように家を出て、そこそこ空いてる電車で、大抵座って行ける余裕のある通勤です。とある日、きっちり 1 時間遅く起きてしまい、全く気が付かず出勤しました。駅についてあまりの満員電車に愕然！何が起こったかと思いましたが、いや、これ、日常なんですね。

みんなの広場

皆さんからの返信を待っています！。 何時でも受け付けます。

■「オリンピック・パラリンピック 2020」開催される。

2020 年開催予定の大会が「新型コロナウイルス感染拡大」により 1 年延期され、オリンピック競技大会は 2021 年 7 月 23 日～8 月 8 日、パラリンピック競技大会は 2021 年 8 月 24 日～9 月 5 日に開催された。1964 年東京オリンピック昭和 39 年 10 月 10 日（後の体育の日）から 10 月 24 日までの 15 日間 57 年ぶりの開催。（開催期間中 1 日の感染確認が 5 日連続で 4000 人を超え、閉幕時、7 月 23 日の 2.9 倍になる。）

■ COVID-19 感染 計 150 万人超

国内の新型コロナウイルスの感染者は 9 月 1 日、累計で 151 万 1377 人となった。昨年 1 月に国内初の感染者が確認されてから、50 万人を超えるまで約 1 年 3 か月かかった。100 万人に達したのはその 4 か月後。さらに 150 万人となるまではわずか 26 日間で、感染者数は加速的に増加していた。（9 月 14 日の全国での感染者 6277 人ピークを越え下降傾向。東京都、9 月 14 日は 1004 人感染、23 日連続前週を下回る。）

■「福島第一原発の処理水放出決定 IAEA が評価」

福島第一原発を調査する国際原子力機関（IAEA）が、原発処理水の海洋放出を評価している。

東電福島第一原子力発電所の廃炉作業を検証する IAEA の調査団は 8 月 27 日、日本政府が「処理水」の海洋放出を決めたことを評価する報告書を政府に提出しました。

なお IAEA は 9 月、処理水の安全性についての詳しい調査を引き続き実施する予定です。

調査団は 6 月 30 日から 3 年ぶり 5 回目の調査を開始しており、8 月 23～24 日には東電から廃棄作業の現状などの説明を受けています。調査団が経済産業省に提出した報告書は、海洋放出で廃炉計画が進むことを評価した上で、課題として将来発生する処理推量の推計、放出時期の見通しを挙げられている。

編集後記 今回の 56 号は、特集号として会員の近況報告を掲載した。返信のない会員の皆さん、何時でも構いません投函してください。 広報委員会 早瀬 武雄・櫻田 晃・小嶋 昌光・仙臺 真紀夫・小松崎 真一